

平成二十三年 造幣局桜の通り抜け

俳句入選句

辻田 克巳 選

特  
選

(三句)

花屑もいろとりどりや通り抜け

大阪府大阪市

小田 幸子

【評】

百品種を超える通り抜けの里桜、散る花は

「花屑」になっても「いろとりどり」。

満開の花影揺らす鳥の影

大阪府大阪市

横山 和恵

【評】

空一杯に咲き満ちた花の影を幽かに揺らすは鳥。

その鳥の影が動くのがみえる。

考への中へ中へと花の散る

奈良県天理市

松田 吉憲

【評】 落花の中でのもの思い。まるで桜は心の中へ中へと散り込んでくる様に思える。

入  
選

(五句)

船長はピンクの法被花見船

大阪府大阪市

濱上ミツエ

独り来て独りの花の通り抜け

奈良県生駒市

塩川 雄三

明日帰国する娘と花の通り抜け

大阪府大阪市

堀脇恵美子

御衣黄てふ櫻知りたる六十路かな

大阪府大阪市

澤田 竹童

満開の花の余白を空の青

奈良県天理市

松田 吉憲

佳作

(二五句)

花筏くづしぼんぽん船通る

大阪府八尾市

喜多 繁子

花吹雪両手で受ける二人連

大阪府大阪市

栗垣 義昭

花見船手を振る人に振り返す

大阪府八尾市

山森 信子

舟人となりてこよなき花見かな

大阪府大阪市

渡辺 伝三

又戻り妹背桜に佇ちにけり

大阪府大阪市

永岡 米子

句短冊くるりと廻す花の風

奈良県橿原市

神田須津子

被災地へせめて花の句届けたし

奈良県橿原市

神田須津子

真っ青な空となりたる桜かな

大阪府大阪市

柴本 太郎

小花にも小花の風情桜かな

大阪府八尾市

小林 千枝子

被災地を思ふ塩釜桜かな

大阪府大東市

谷口 東香

近づけば近づいて来る夜の桜

大阪府大阪市

大鹿 正男

みどり児の瞳輝く桜かな

奈良県奈良市

高橋 慈雲

短冊のそよぎも花の餘情かな

大阪府大阪市

細川 紫雲

雨に濡れ彩を深めし桜かな

大阪府堺市

川本ひろ茂

紅手毬の花のつめたさ手に残る

大阪府大阪市

木村千津子

ぞろぞろとぞろぞろと花見かな

大阪府八尾市

米澤 悦子

さくらみてベビーカステラたべました

京都府木津川市

小谷 悠人

花守の腰に二双の軍手下げ

大阪府堺市

田中 稔

花びらを膝に集めし車椅子

大阪府守口市

中村 富子

寝おちたる子を傍らに花の宴

大阪府堺市

原 順子

花吹雪浴びて新郎新婦かな

大阪府東大阪市

雨堤 幸子

車椅子囲むはらから通り抜け

大阪府大阪市

鍛治 倫子

栈橋の脚に纏はる花筏

大阪府高槻市

日下 總一

ずぶ濡れの銘雨宿りてふ桜

兵庫県神戸市

藤田かもめ

満載の砂利船のぼる花日和

大阪府大阪市

堀脇 正一

選者吟

辻田 克巳

花三分夜来の雨になど散らず

両岸の桜運河を押包む

大川と言ひ慣はせる桜かな

一文字の鯉しづかなり花の暁

吉兆の雨となりたる桜かな